

令和4年度大分県民スポーツ大会における新型コロナウイルス感染防止対策について

【 27 空手道 】

1. 競技会感染対策ガイドラインについて

- ・全日本空手道連盟ガイドライン
- ・大分県新型コロナウイルス感染症対策本部からの情報等を参考

2. 各競技運営上での感染対策について（以下の項目を参考して記載すること）

大会参加について

- ・参加選手、応援者は当日朝に検温を実施し、37.5℃以上の者は参加、来場出来ない。
（検温を忘れた者は会場に入る前に検温する。）
- ・大会来場者は常時マスクを着用する事。
- ・会場に入る時には、入り口に設置している消毒液で手指を消毒して入場する。
- ・会場内では競技中以外は、マスクを着用し、密にならないように心がける。
- ・応援は拍手で行い、発声をしない。
- ・各団体代表者は自団体の来場者を把握する事。
- ・観客席もまわりと1席以上の座席を空け、着席する事。
- ・審判も常時マスクあるいはフェイスマスクを着用する。
- ・大会中に体調がすぐれない場合は、会場救護に相談する。

競技について

- ・競技（組手・形）における気合・形名の発声は認める。
- ・コートで試合をする選手以外は、マスクを着用する。
- ・待機中は密にならない様に注意する。・安全具の使い回しは絶対にしない事。
使用後はこまめに消毒する事。
- ・競技（組手・形）における気合・形名の発声は認める。
- ・メンホーはメンホー用口元シールドを装着するか、口の部分を透明のテープ等でシールドする事。
- ・大会を通じて、握手、ハイタッチ、ハグ等を行わない事。
- ・大会終了後、体調を崩したり、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、貴団体代表者を通じ、県連事務局に報告する事。